

はたらく今日が、いい日に。

doda

2026 年 1 月 20 日  
パーソルキャリア株式会社

## 転職サービス「doda」、約 600 人の人事担当が集う HR 交流イベント 「doda Meetup 2025 HataRaku 最前線」開催レポート ～スキルベース社会や組織変革をテーマにしたセッションの様子をお届け～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「[doda（デュード）](#)」は、2025年11月28日（金）に、「採用と人事のこれからを共創する」をテーマとした人事向けHRイベント「doda Meetup 2025 HataRaku最前線」を開催しました。本レポートでは、基調講演およびセッションの内容を一部抜粋してご紹介します。



### 開催背景：

近年、採用課題は複雑化しており、人事担当者は「採用活動をどう前進させるか」「社員エンゲージメントをどう高めるか」といったさまざまな課題を抱えています。本イベントは、「日本の未来は人事が動かす。」をコンセプトに、未来をつくるのは人事であるという当社からのエールを込め、開催しました。また、人事領域における先進的な取り組みを推進する企業をお招きし、来場者同士が企業の枠を越えた意見交換や学びを深めることで、今後の人事戦略に役立てていただくことを目指しました。

今後も転職サービス「doda」は、こうしたイベントを通じて、法人のお客さまには採用課題の解決や組織変革の支援を、個人のお客さまにはキャリア形成を後押しする情報提供や転職サポートを継続してまいります。また、より良い顧客体験を提供するとともに、多様なバックグラウンドを持つ方がキャリアオーナーシップを存分に発揮し、活躍できるよう支援してまいります。

### 基調講演「日本型人事の再定義」

いすゞ自動車株式会社 CHRO 有沢正人氏とパーソルキャリア株式会社 取締役副社長執行役員 喜多恭子が「日本型人事の再定義」をテーマに基調講演を行いました。両氏は、人的資本経営が企業価値の重要な源泉となる時代において、人事戦略は経営戦略と密接に結びつくべきであると指摘しました。

有沢氏は、従来のメンバーシップ型雇用について、「組織に人を合わせる仕組み」であるために、個人の専門性を十分に活かしきれていない側面があると指摘し、「日本らしいジョブ型雇用」への進化が重要であると述べました。また、企業と社員が相互に「選び・選ばれる」関係性を築くことで、社員の成長意欲を引き出すとともに、企業も社員から選ばれる存在となり、エンゲージメント向上につながると強調しました。

問い合わせ先 パーソルキャリア株式会社 広報部 [koho@persol.co.jp](mailto:koho@persol.co.jp)

喜多は近年の人事領域においてジョブ型雇用、スキルベース、ウェルビーイング、エンゲージメント、AI×人事といった新たなキーワードが次々と登場し、人事を取り巻く状況が一層複雑化していると指摘しました。そのうえで、現場では同一企業内に「過剰な人材」と「人材不足」が同時に発生しており、需給バランスの崩れや流動化、生産性向上への対応、スキルマッチの難しさといった課題が顕在化しているとの認識を示しました。

また、日本らしいジョブ型雇用の設計に加え、経営が人材価値創造に積極的に関与する重要性についても言及。具体的には、人材ガバナンスやサクセッションプランの設計、従業員体験の向上など、人的資本価値を高めるための仕組みづくりについて活発な議論が行われました。



### セッション「AIと人事の未来 —AI活用最前線—」

AI Librarium株式会社CEO 西川智章氏、株式会社サイバーエージェント人事局局长 武井亮氏、パーソルキャリアの神埜隼輝氏が登壇し、「AIと人事の未来 -AI活用最前線-」をテーマに、採用領域におけるAI活用の方向性について議論しました。

採用や人材配置において、スキルや条件の一致にとどまらず、企業と個人の間にある「はたらく意味・判断軸・行動原理」における価値観が一致していることの重要性が共有されました。また、AI活用が進むことで、スキルや経歴のマッチング、書類スクリーニング、選考管理などのプロセスは自動化・高度化していく中、各プロセスにおいて複数のAIエージェントを活用することで業務効率の向上が期待できる点について意見が交わされました。さらに、業務を細分化し、優先度の高い領域から段階的に導入する「リスタートアップ型」の方針が紹介され、将来的なAIエージェントの統合も見据えた取り組みの必要性が示されました。





登壇企業のAI活用事例として、株式会社サイバーエージェントは生成AIを活用した業務削減キャンペーンの実施をはじめ、ガバナンス体制の整備やリスクリテラシー推進などを紹介。社員の評価業務削減においては、面接補助やフィードバックの自動化、目標設定支援、レコメンド機能、事前ヒアリングなどの領域でAIを活用し、業務効率化にとどまらず、分析の高度化や最適化にも寄与する点を強調しました。

本セッションを通じて、AIは人事担当者を代替する存在ではなく、“人にしかできない”価値提供に集中するための時間を生み出す存在であるとの認識が、改めて共有されました。



## 登壇者プロフィール

### 有沢 正人（ありさわ まさと）氏

いすゞ自動車株式会社 常務執行役員 CHRO

慶應義塾大学卒業後、1984年協和銀行（現りそな銀行）入行。

1992年米国でMBAを取得。2004年HOYA人事担当ディレクター、指名委員会・報酬委員会の事務局長も兼任。2009年AIU保険（現・AIG損保）人事担当執行役員。2012年カゴメ株式会社特別顧問、同年執行役員人事部長、2017年執行役員CHO就任。2018年常務執行役員CHOを歴任。2025年4月より、いすゞ自動車株式会社 常務執行役員 CHRO 人事部門EVP就任。



### 西川 智章（にしかわ ともあき）氏

AI Librarian株式会社CEO／東北大学 特任准教授（客員）

シリアルアントレプレナーとしての実体験に裏打ちされた「机上の空論ではない」戦略実行力。過去、自ら創業したAIスタートアップを、住友商事やDBJキャピタル等から資金調達を実現し成長させた後、上場企業へ売却経験あり。PwCコンサルティングで培った戦略構想力と富士通で経験したテクノロジーの実装力や自ら手を動かすプロダクト開発の知見を掛け合わせることで、テクノロジーを深く理解したビジネスコンサルタントとして独自の価値を提供。



### 武井 亮（たけい あきら）氏

株式会社サイバーエージェント インターネット広告事業本部 人事局 局長

2002年に人事担当としてキャリアを開始し、2005年サイバーエージェントへ転職。新卒・エンジニア採用、人事制度設計を担当。2010年より子会社ジークレストで人事・経営管理責任者、取締役、ゲームプロデューサーを歴任。2018年本社復帰後は広告事業本部でクリエイティブ人事を統括し、2024年より同事業本部の人事責任者として採用・育成・組織開発・労務を総合的に管掌。



## 喜多 恭子（きだ きょうこ）

パーソルキャリア株式会社 取締役副社長執行役員

1999年、インテリジェンス（現パーソルキャリア）入社。

派遣・アウトソーシング事業、人材紹介事業などを経てアルバイト求人情報サービス「an」の事業部長に。中途採用領域、派遣領域、アルバイト・パート領域の全事業に携わり、2019年に執行役員・転職メディア事業部事業部長。2022年4月より人事本部長。2023年4月よりdoda事業本部長、2025年取締役副社長執行役員に就任。パーソルグループジェンダーダイバーシティ委員会委員長。



## 神埜 隼輝（こうの じゅんき）

パーソルキャリア株式会社

doda事業本部 採用ソリューション事業部 MA統括部 ゼネラルマネジャー

2014年に新卒で銀行に入行。下町エリアで個人営業・法人融資を経験したのち、2017年にパーソルキャリア株式会社へ入社。入社後は求人メディア事業にて、メーカー・建設・IT業界を中心に幅広い企業の採用支援に従事。2024年より現職。現在は、準大手企業領域のメーカー・建設・IT業界を担当し、人事・採用戦略および中途採用コンサルティング部門の営業責任者を務める。



## 「doda Meetup 2025 HataRaku最前線」開催概要

本イベントは、「日本の未来は人事が動かす。」をコンセプトに、企業の人事・採用担当者が集い、最新の経営・人事戦略や採用トレンドをお届けし、トップランナーによる基調講演やAI活用・転職市場展望・業界別人事戦略など、時代の最前線を走るテーマ別セッションを多数開催しました。

- ・日時：2025年11月28日(金)14時～19時30分
- ・場所：赤坂インターシティAIR
- ・実施セッション数：9

## ■転職サービス「doda」について < <https://doda.jp/> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級のdoda転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。